

2011年度 日本文化人類学会

第5回 理事会 議事録

日時：2011年7月9日(土) 13:00～16:30

会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 7階 雲取(くもとり)

出席者：渡邊(欣)、綾部、岡田、小田、栗田、桑山、清水、関根(康)、棚橋、玉置、三尾、森山、渡辺(公)

委任状提出：太田、鏡味、葛野、佐々木、高倉、中川、中谷、名和

欠席者：栗本

〔承認事項〕

1. 2011年度第4回理事会議事録を承認。
2. 新入会員(2名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 国際常民文化研究機構より国際シンポジウム「“カラダ”が語る人類文化-形質から文化まで-」(平成23年12月10日、11日開催)の後援依頼があり、総務会で検討の上、後援を承諾したことを報告の上で事後承認。
4. 「東日本大震災の被災会員に対する2011年度会費徴収特例措置」について3件の申請があったことを報告、各申請事由を確認の上、承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・課題研究懇談会運営委員会の設置および委員の人選について報告。
2. 庶務理事報告
 - ・学会誌に掲載された「研究ノート」の位置づけについての問い合わせに対し、『文化人類学』編集主任の中川理事と相談の上、査読付き論文として扱って差し支えないとの回答を行ったことを報告。
3. 広報理事報告
 - ・「東日本大震災の被災会員に対する2011年度会費徴収特例措置について」をJASCA-INFOで配信したことを報告。
 - ・「課題研究懇談会の募集について」をJASCA-INFOで配信したことを報告。
 - ・「次世代育成セミナーの開催について」、「次世代育成セミナーの開催の詳細について」をJASCA-INFOで配信したことを報告。
4. 各種委員会報告
 - ・研究グループ制(課題研究懇談会)導入検討委員会：課題研究懇談会の導入を検討してきた同委員会はその役割を終えたため、本日をもって解散することを報告。
 - ・学会歴史委員会：神奈川大学常民文化研究所での「人類学者・民族学者」映像記録の公開について、国立民族学博物館館長に説明を行ったことを報告。
 - ・地区研究懇談会担当委員会：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。
 - ・倫理規定検討委員会：倫理綱領英文草案(対訳)を提示し、各理事に次回理事会までに文面の確認を行うよう依頼があった。
 - ・文化人類学教育特別委員会：欠席の鏡味理事に代わり、綾部理事より、高野さやか会員、浜田明範会員、松村圭一郎会員、村松彰子会員(以上、東日本会場担当)、木村周平会員、久保忠行会員、佐川徹会員、宮本万里会員(以上、西日本会場担当)の8名が次世代育成セミナーの運営委員に選出されたことを報告。
5. 研究大会について
 - ・第45回研究大会について、事前登録し来場した会員数が473名、当日受付来場者数が118名、懇親会参加者数が349名であったことを報告。
 - ・現在研究大会の発表要旨登録に利用しているJ-STAGEの演題登録サービスが今年度で廃止されるのに伴い、次回の第46回研究大会に限り、例年より早い時点で発表要旨をWeb上で公開せざるをえないことを報告。
 - ・第45回研究大会において、事前に登録した発表要旨と実際の発表内容が異なるケースが発生しているこ

と、この問題を調査するために、第45回研究大会の各座長に対しアンケートを実施中であることを報告。

〔審議事項〕

1. 三島海雲学術賞の推薦依頼について
 - ・綾部理事より、三島海雲記念財団から三島海雲学術賞の学会推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、JASCA-INFOと学会ホームページを通じて会員に対し公募を行い、理事会が推薦者を決定することとした。
2. 朝日賞の推薦について
 - ・渡邊会長より、平成23年度朝日賞の推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、会長原案が承認された。また、推薦書の作成は総務会に一任することとした。
3. 第25期評議員選挙管理委員会の設置について
 - ・綾部理事より、第25期評議員選挙管理委員の人選について説明があり、理事委員4名が選出された。また、理事外委員6名の選考については、総務会に一任することとした。評議員選挙に先立って行われる会員調査について、会員調査依頼メールの文言調整を行った。
4. 第45回研究大会における不参加者への対応について
 - ・研究大会運営検討委員の栗田理事より、第45回研究大会において、連名で発表登録を行っていた発表者のうち1名（非会員）が不参加であったことが報告され、審議の結果、本件については諸事情に鑑み参加費の追加徴収を行わないこととした。また、非会員の発表に関する対応については、研究大会運営検討委員会で原案を検討することとした。
5. 学会賞選考規則の改訂について
 - ・森山理事より、日本文化人類学会学会賞選考規則改正案について説明があった。改正案のポイントは次の2点。学会賞選考委員会と学会奨励賞選考委員を形式上別組織とし、各賞の授賞候補者の母集団と選考委員の重複を避けるため規則上1年任期とする。意見交換の後、学会賞選考規則の改訂については継続審議とすることとした。
6. 高齢会員への対応について
 - ・渡邊会長より、高齢会員の増加にまつわる問題点やその対応策についての説明があり、意見交換の結果、高齢会員のみならず、職に就いていない若手会員に対する会費減免措置等を含めた包括的な対応が必要であるとの結論に至り、この件については継続審議とすることとした。
7. その他
 - ・綾部理事より、配付資料の「次世代育成セミナーQ&A」に発表者への交通費補助を行わないと記載されている点について、発表者へも一律1万円の補助を行ってはどうかとの総務会案が提示された。これに対し、大学によっては学会発表等への補助制度を設けている場合もあり、学会補助が出る場合には大学からの補助は受けられない場合があること、また、補助を二重に受けていても学会ではチェックができないこと等の指摘があり、審議の結果、波平基金を活用してコメンテーターへの交通費補助のみ行うこととした。

以上